

経営比較分析表（令和2年度決算）

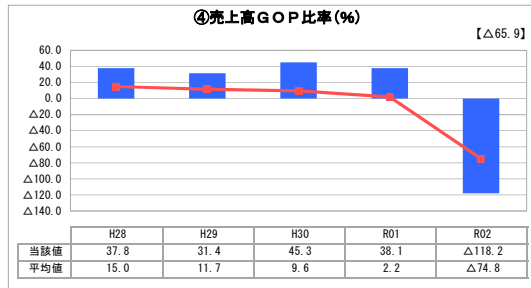
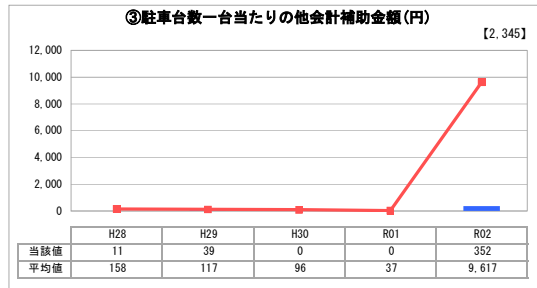
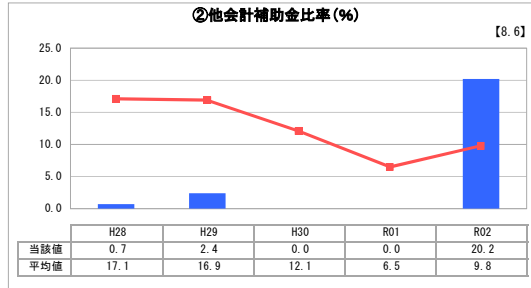
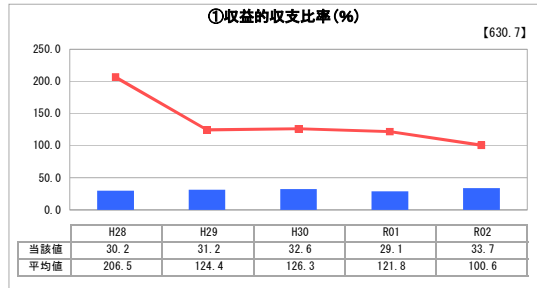
香川県坂出市 坂出駅北口地下駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 届出駐車場	地下式	20	

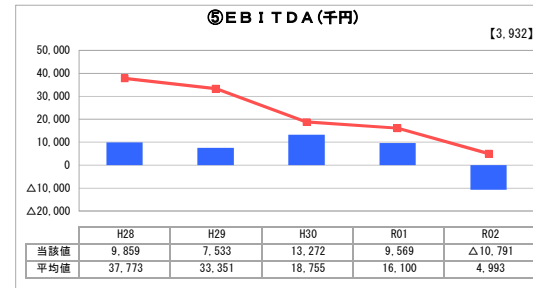
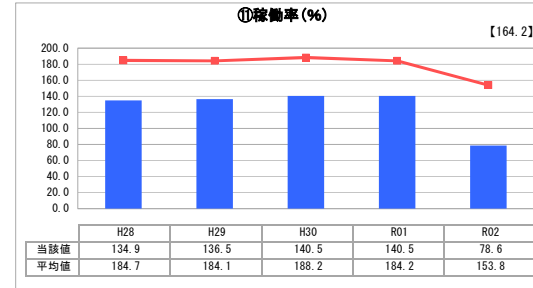
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	5,247
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
126	200	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

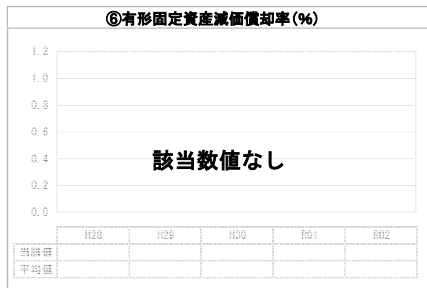
1. 収益等の状況



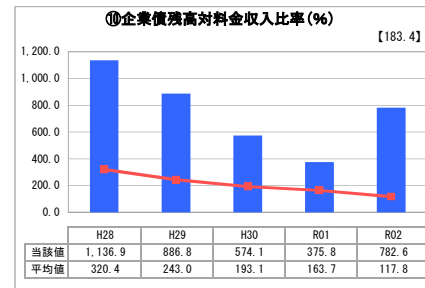
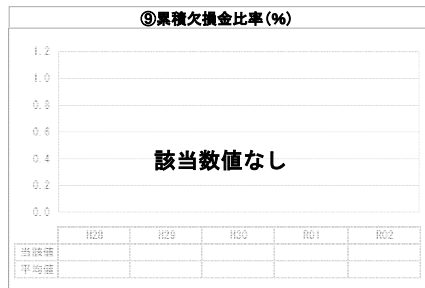
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
0
⑧設備投資見込額(千円)
995,613



分析欄

1. 収益等の状況について

①収益的収支比率の数値が100%未満のため、赤字経営となっています。これは施設の建設費に伴う地方債償還金の金額が大きく、営業収益だけでは賄いきれていないからです。地方債償還金は令和4年度まで残っているため、今後も厳しい経営状況が続くと思われますので、経費削減等に努めています。

②他会計補助金比率と③駐車台数一台当たりの他会計補助金額が大きく増加しています。これは新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛で利用者及び営業収益が減少したため、施設管理費用の一部を一般会計からの繰入金によって賄ったからです。

④売上高GOP比率と⑤EBITDAについては、令和元年度と比較して大きく数値が低下し、経営状況が悪化しています。これは新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛により利用者が大きく減少したためです。

2. 資産等の状況について

⑥供用開始から20年が経過し、耐用年数を超えた機器等が出てきているため、令和2年度策定の経営戦略及び個別施設計画をベースに、優先度の高い機器・設備等から順次更新・修繕を実施していきます。

⑩企業債残高対料金収入比率については、年々減少傾向にあったものの令和2年度に大きく増加しています。これは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛により料金収入が激減したためです。

3. 利用の状況について

①稼働率については、令和2年度に大きく減少しています。これは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛により利用者が激減したためです。

また、過去を通して平均値を大きく下回る数値で推移しています。これは、当該駐車場の周辺に最大料金で半額程度の民間駐車場があること、長時間利用者が多いことが要因として考えられます。

稼働率を向上させるために、最大料金を周辺の駐車場と同額まで値下げをすることが考えられますが、値下げをすることでかえって長時間利用を誘発し、稼働率の向上につながるとは言えません。

稼働率の向上については、駐車料金だけでなく、利用者の動向や施設の需要も視野に入れて慎重に検討していく必要があります。

全体総括

地方債償還金が令和4年度まで残っていること、新型コロナウイルスの感染拡大が未だ予断を許さない状況であることを考慮すると、今後の経営状況はさらに厳しいものになると予想されます。経費削減等の地道な努力に加え、利用者の動向等、周囲を取り巻く環境を把握し、収益の増加あるいは確保に努めていく必要があります。

当該駐車場は、駅周辺の都市機能の強化を図るとともに、渋滞の緩和及び交通事故防止を目的に設置されています。その本来の目的を見失わないよう、適切な経営に努めています。

また、令和2年度に策定した経営戦略の投資・財政計画をベースに、経済情勢を考慮しつつ経営を進めています。